



大村市立福重小学校 学校だより

令和4年2月16日(水)

あさひ

文責：校長 田中 康隆

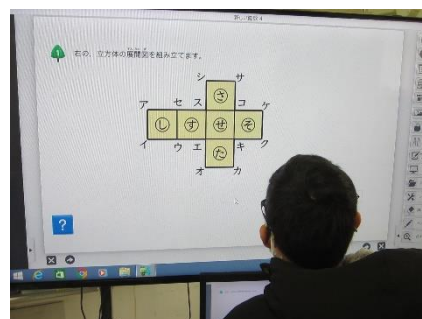
目指す児童像：㊦るさとを愛する子・㊧ふうする子・㊨んせつな子・㊩んきな子

授業のデジタル化、進んでいます

3年生は、総合的な学習の時間で「福重地区について発表しよう」の学習があります。今回は、各地区にある遺跡などについて調べ、タブレット端末を使っての発表会を行いました。子供たちの発表を見ますと、福重地区には、とても多くの「名所」が有り、改めて福重地区の歴史的な価値と先人の郷土への思いを感じます。

タブレット端末の活用について子供たちの適応能力の高さを感じました。発表内容はもちろんですが、プレゼン用画面のデザイン性や作成のための技能や表現力など、どれをとっても素晴らしいものでした。

また、はるかぜ学級の4年算数科でも、デジタル教科書を使って立方体の面の関係（平行や垂直）についての学習を進めました。以前は頭の中でイメージしたり、実物を使って考えたりしていました。今は大きなモニターとデジタル教科書のお陰で、画面上で立体を切り開いたり、組み立てたり、回したりしながら、直感的に学ぶことができます。



花壇の花植え、ありがとうございました

2月9日(水)、PTA 環境整備部を中心とした保護者の方々にご協力いただき、東校舎前花壇にきれいな花を植えました。ノースポールやパンジー、ビオラなど色とりどりの花が校庭を飾ってくれています。親子花植えを予定していましたが、コロナ禍の影響で中止



になり、今回の形になりました。行事の自粛・中止が続き、暗いニュースが多い中、パッと校庭が明るくなったように感じます。きっと、子供たちの気分も明るくなることでしょう。お忙しい中、子供たちのためにありがとうございました。

忘れないことが第一歩

2月9日付の長崎新聞に、本校で開催した2020年7月に市内で大きな被害を出した大雨に関する写真展の記事が掲載されました。これは、記事にもあるように今年度国の指定を受けて取り組んでいる「学校安全総合支援事業」の一環として、学校評議員（福重郷土史同好会会長）の上野さんのご協力をいただき開催しました。本来、授業参観に合わせて保護者の皆様をはじめ多くの方に見ていただきたかったのですが、コロナ禍の影響で縮小開催としました。

展示した写真は、護岸が決壊した佐奈河内川や冠水した福重出張所一帯のものなど計12枚で、市内の被害の状況を伝えたものです。取材に対して上野さんは「水害を忘れないことも防災の第一歩ということを伝えたかった。」と答えられています。今後機会がありましたら、またお願いして開催したいと思います。